

ネットワーク参加者 募集

〒100-0013 千代田区霞が関3-3-1 尚友会館6F
全国道路利用者会議内
「道路ユーザーネットワーク」係
<http://road-jhuc.jp>

道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

平成26年度
『道路ふれあい月間』
推進標語
最優秀賞
『子や孫に
つなげていきたい
道がある』



ラン仲間の妙子ちゃんとお正月の伊豆を縦走。楽しくて笑っぱなし。



バイクでよく走った県道の傍を走るバイクコース。交差していたんだね。



バス停までひと走り。温泉・ご飯と、美味しい旅は止められない。

自分が幼かった頃、57歳になっても走る人生を送っているとは思いませんでした。まさか汗水流して、泥だらけになって、何も食べられなくなっても吐きながら進むなんて。どんな厳しい状況でもゴールしたいだけなのですが、日本一周ツーリングも砂漠のラリーもトレイルランニングも、トコトンやらないと気が済まない性格なのでしょう。

20代〜40代に夢中になったのは、バリダカに代表される砂漠のラリー。20日間一万キロという時間と距離を進むために費やした時間は、ほぼ毎日、仕事の報酬はすべて砂の中へ消えていきました。けれど、そこから得たものは、細胞まで変えてしまう程の大きな学びで、今でもそれは私の宝です。

今、そんなラリーの現場で学び続けているのは、以前ご紹介した若林葉子さん。1月4日にスタートした「ダカールラリー2015」、ベテラン菅原義正氏の駆る日野レンジャー（HINO Team Sugar）のナビシフトで、元気良く南米の大自然を走り続けています。砂丘から落ちる様に下っていく様は、さすがに度肝を抜いたようですが、ナビゲーションも慣れ、後半戦に走り出して行きました。世界一過酷な自動車レースの経験は彼女をどんな風に変えていくのか、楽しみ！そして偶然ですが、ラリー最終日の17日、私も香港のトレイル「ピラミッドHKL100」のゴールを目指して進んでいます。2度目の参加となるこの100キロの山岳レース、厳しさよりも楽しさの方が記憶にあるのですが、今回の目標はズバリ完走。

去る2014年は、私にとって人生の休息日でした。18歳からフリーランスで走り続けて40年弱。日曜祭日はなくとも楽しくがむしゃらに仕事とスポーツをしてきましたが、昨年末、見事にぶつ壊れました。原因は「やりすぎ」。激しい目眩や繰り返す帯状疱疹で苦しむ毎日の辛かったこと。そんな中でも好きなレースは幾つも参加しましたが、当然返してしまいが、50歳で一度倒れた時

も暮らした方を見直したので、その後にはモンブランの伊豆や箱根や奥多摩の山々を闊歩しましたが、改めて山の気持ちよさに感動。空気が美しく、汗は爽快。そして輝く光の美しいこと。言ったら！同じ事を繰り返しているように見えませんが、何かが私の中でガラリと変わりました。

昨年は布団の中で泣く泣く諦めた香港。今年は、タイムは遅くとも笑って自然とレースを満喫する私がいる筈です。今心掛けていることは、「明日やることは今日やらない」「ほどほどが廻りを幸せにする」「人がやってくれることは自分でもできるな」。人生の半分強で知ったことは、バリダカでも教えてくれないことでした。後半戦も自分らしく走り続けたいので、いいキーワードを戴きました。という訳で、今年はなんと20レース（マラソンとトレイル）、来年からはいよいよ300キロクラスのグレートレースに参ります。なぜ走るのか自分でも不思議ですが、やっぱり「そこに道があるから」なのでしょう。しかし、幼い頃の私が見たら、母というより祖母の歳なのだから、飛んでるバアちゃん？成人式の息子や娘がいたら、「お母さん、お願いだからほどこに」と言われちゃう



三好礼子
エッセイスト・国際ラリスト
～<http://www.fairytale.jp/>～

★三好礼子の★
ナチュラル・ロード



休息日の菅原さんと葉子さん。この笑顔にはチームも癒されますね♪



裏山で犬ぞりとスノーボードで訓練中？動けることに感謝で〜す！

「道路」を表す言葉② 「通り」と「目」をめぐる

東洋大学国際地域学部・准教授
志摩恵寿

年賀状を書くといつも思っています。「京都市上京区梨ノ木通り今出川下ル」・・・諸外国では一般的に通りの名称を使った住所ですが、日本ではお目にかかることが珍しいのはなぜでしょうか。

日本の住所の表示を規定するのは、昭和37年に施行された「住居表示に関する法律」（住居表示法）で、その第2条では住居表示の原則を次のように定めています（一部省略）。

市街地にある住所若しくは居所又は事務所、事業所その他これらに類する施設の所在する場所を表示するに

は、都道府県、郡、市、区及び町村の名称を冠するほか、次の各号のいずれかの方法によるものとする。

一 街区方式 市町村内の町又は字の名称並びに当該町又は字の区域を道路、鉄道若しくは軌道の線路その他の恒久的な施設又は河川、水路等によつて区画した場合におけるその区画された地域につけられる符号及び当該街区内部にある建築物その他の工作物につけられる住居表示のための番号を用いて表示する方法を用いる。

二 道路方式 市町村内の道路の名称及び当該道路に接し、又は当該道路に通ずる通路を有する建物その他の工作物につけられる住居番号を用いて表示する方法を用いる。

つまり、ここでいう「道路方式」が諸外国で一般的な通りの名称を用いた住居表示で、「街区方式」が日本でも一般的な町丁目を用いた方式も採用することができ、そのうち「通り」として古くから通りの名称を使った住所を用いてきた京都市等は別に、住居表示法に基づいて道路方式を用いている例は、山形空港のある山形県東根市の一部にみられる程度で、そこでも、もともと農地であったために街区方式では街区が広大になってしまい、かつ、幹線道路が東西南北に整然と走っていたことから、道路方式の方が分かりやすいという理由で、積極的に道路方式を用いた訳ではありません。

ハツと
思いました

でも「羊」は、角が生えたは、どんなイヌだろう。状態が成長したものを示していると言われています。さて、この「未」の今年はどうなるか。昨年中はこのコーナーのとりとめのキーワードを戴きました。という訳で、今年はなんと20レース（マラソンとトレイル）、来年からはいよいよ300キロクラスのグレートレースに参ります。なぜ走るのか自分でも不思議ですが、やっぱり「そこに道があるから」なのでしょう。しかし、幼い頃の私が見たら、母というより祖母の歳なのだから、飛んでるバアちゃん？成人式の息子や娘がいたら、「お母さん、お願いだからほどこに」と言われちゃう

でも、そも、この住居表示法が施行される以前の住所は、明治初期の地租改正における課税のための「地番」で代用されており、必然的に土地所有の観点から地番が付されたため、その広狭・形態は様々で、また、土地を分筆すれば枝番号が、合筆すれば欠番が生じるというように不便なものでした。そこで、新たに定められた住居表示法には、こうした不便さのない合理的な住所システムが期待され、推奨されたのが「街区方式」でした。まず、道路や鉄道、河川、水路等の恒久的な構造物で町界を区分し、街区方式に適した規模に揃えるべく面積・人口等に一定の基準を設けること等が定められました。また、「丁目」を付す場合には「〇〇町△△丁目」とするのと、さらに、例えば、東京都の実施基準では、23区内

新年 明けましておめでとうございます。昨年中はこのコーナーのとりとめのキーワードを戴きました。という訳で、今年はなんと20レース（マラソンとトレイル）、来年からはいよいよ300キロクラスのグレートレースに参ります。なぜ走るのか自分でも不思議ですが、やっぱり「そこに道があるから」なのでしょう。しかし、幼い頃の私が見たら、母というより祖母の歳なのだから、飛んでるバアちゃん？成人式の息子や娘がいたら、「お母さん、お願いだからほどこに」と言われちゃう

「未」の今年はどうなるか。昨年中はこのコーナーのとりとめのキーワードを戴きました。という訳で、今年はなんと20レース（マラソンとトレイル）、来年からはいよいよ300キロクラスのグレートレースに参ります。なぜ走るのか自分でも不思議ですが、やっぱり「そこに道があるから」なのでしょう。しかし、幼い頃の私が見たら、母というより祖母の歳なのだから、飛んでるバアちゃん？成人式の息子や娘がいたら、「お母さん、お願いだからほどこに」と言われちゃう

歩み、前へ進むことしか手はないでしょう。地道に、一年を過ごしたいものです。

